



▲引きが強い魚がヒットしたら、少しドラグを緩めて一定のペースで巻き上げよう



▶1.7キロのオオモンハタが上がった



▲当日は捨て糸を10〜30センチと短めにしている人にアタリが多かった



▲ライトタックルで引き味倍増



★ヒラメは1キロ前後がアベレージ



▲この日の釣果はトップの2枚が4名とまずまず



▲開始早々に本命が釣れるとうれしい  
▶メバル用の軟調長竿で引きを味わうベテランも



▼ライトヒラメ五目は女性ファンも多い



▶1枚目は1キロ  
▼2枚目は1.3キロ



▲ヒラメの当日最大は1.5キロ

▲▼エサは15〜20センチほどのマイワシ



▲仕掛けはハリス5号の親孫式、オモリは30〜50号を状況で選ぶ

相模湾湘南片瀬港出船

写真：椎名義徳



▲ソナーと魚探でイワシの反応を見つけ、その群れに着いたヒラメを狙う



●当日の釣り場は江ノ島周りの水深15〜30メートル前後



▲エサが豊富なのか身に厚みがあるヒラメが多かった  
▼ホウボウも上がった



しめるのも人気の理由だろう。平均的な釣果は1キロ級主体に一人1〜3枚ほどだが、イワシを追ってヒラメの群れが回ってくると2ヶタに迫る好釣果が上がることも。多彩なゲストも魅力でマハタ、オオモンハタ、アカハタなどのハタ類やカサゴ、ホウボウ、マゴチなどが交じりにぎやかな釣りが楽しめる。(詳細は54ページ参照)

本命十多彩なゲストも魅力  
相模湾のライトヒラメ五目

初夏の相模湾で人気を博している釣り物がライトヒラメ五目。当地のヒラメは周年狙えるが、ライトヒラメ五目乗合の主な釣期は沿岸の浅場にイワシの群れが回遊してくる4〜7月ごろ。釣り場は水深15〜30メートル前後が中心で、使用オモリ30〜50号とライトなタックルで手軽に楽

●相模湾湘南片瀬港・萬司郎丸 根里 洋平船長